

杉下

小学校

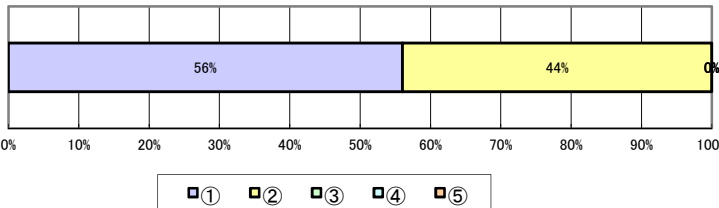
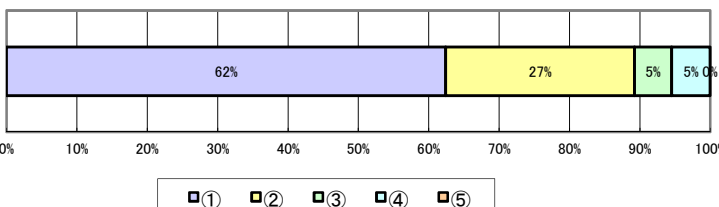
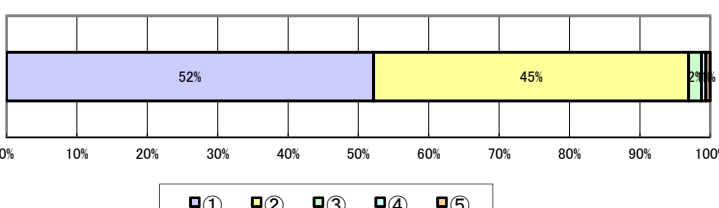
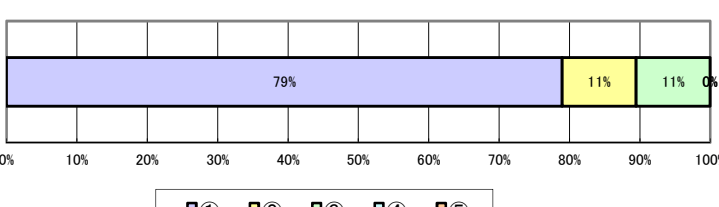
評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度とほぼ同様の結果である。学校運営協議会や保護者懇談会など、今年度は制限がある中での開催となった。 ・このような状況下で今後、どのように学校の情報を発信するか、どのように保護者・地域のニーズを収集していくのか、などを検討していく。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の結果を学校全体で共有するとともに、引き続き保護者や地域の実態やニーズの把握を行い、より良い学校経営に努める。 ・学校メール（C4th）を活用し、学校評価を行い、保護者・地域のニーズを収集する。
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の評価を高めるためには、保護者会等を増やし、意見交換に努めていくことが大事である。 ・コロナ禍において学校、PTA、学校運営協議会等での打ち合わせも減少し大変な一年であったが、過去の経験を活かしよく頑張った年だったと思う。 ・学校教育目標、教育方針に基づき進められ、地域の声を反映しているのはよい。 ・協議会は選ばれた人で傍聴者がいますが、幅広く地域の声を反映するのであれば、ホームページに投稿欄を設けてはどうか。 ・家庭環境によりニーズは様々と思われるが、保護者とのコミュニケーションの中から声を拾い、目標、方針へと反映していただきたい。
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会や保護者懇談会などの場を活用し周知を図ってきた。児童、保護者、地域への周知を更に図ってきたい。
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童へは、朝会での校長の話と学校教育目標を照らし合わせたり、学校教育目標と学級目標をリンクさせたりしながら、日々の指導を行っている。 ・学校運営協議会や保護者懇談会などの場を活用し周知を図っているが、更に学校のホームページを活用するなど工夫して周知を図っていく。 ・地域の回覧を活用する。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の評価は高い。日頃、杉下小だよりや学校応援団だよりが自治会を通して見ることができ、学校の様子を知ることができるので今後も続けてほしい。 ・学校運営協議会や学校だより、応援団だより、杉の子などの配布物で、学校教育目標や方針についてよく理解できた。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	 <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	36%	②	64%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、児童にとって分かる授業を展開するために、教材研究やワークシート、教具の作成などに日々取り組んでいる。 ・また、今年度も昨年度に引き続き、授業に「学び合いの学習」を取り入れ、児童の主体性を引き出しながら、思考力・判断力・表現力を高めるような授業展開に努めている。
	評価項目	割合														
	①	36%														
	②	64%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>59%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	59%	②	34%	③	6%	④	1%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態や発達段階にあった授業展開の工夫を更に研究していく必要がある。 ・個に応じた教材・教具の開発を行っていく。 ・学校課題研究で取り組んでいる「学び合い学習」の研究を更に進めていく。 	
評価項目	割合															
①	59%															
②	34%															
③	6%															
④	1%															
⑤	0%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からの評価が高く、満足のいく授業が受けられている様子が分かる。配置されたタブレット等の学習が早く身近なものになるとよい。このような状況下で教職員は臨機応変に対応したことが児童からの評価につながったように思う。 													
地域																

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には落ち着いて学習しており、多くの児童が集中して授業に取り組んでいる。ただ、課題のある児童に対する指導が不十分な点もある。
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題のある児童については、保護者とのコミュニケーションを密に取りながら、課題解決に取り組んでいく。 ・生徒指導委員会を中心とした組織的・継続的な指導を重点的に取り組む。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を問わずおおむね落ち着いた態度で学習している。暑い夏の授業も子どもたちが集中して頑張っているのが印象的だった。 ・児童の多くは落ち着いて学習に取り組んでいる。ただ、一部児童はその限りでなく、家庭と連携した対応が必要と思われる。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任が中心となり、各学年の担任と協力し、児童の問題行動に対しては、素早い対応を行ってきた。教職員間での多少の温度差が見られるので、それを埋めていく必要はある。
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の評価は昨年度と同様で、悪くないので教職員は自信をもって今後も組織的に根気強く指導をしていく必要がある。 ・生徒指導委員会や企画委員会等の場で、情報共有をしっかり行い、教職員間の指導に温度差がないように、共通理解・共通行動をとる。
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からの評価が高く、教職員に信頼を寄せている様子が分かる。児童の登下校については、教職員への指導を希望する声が多いため、交通ルールやマナー、登下校の決まり等の更なる指導が求められる。 ・教職員、児童、保護者から高い評価が出ているのでよいと思うが、児童や保護者からもっと高い評価が出るように指導を願います。
	地域			

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の評価が低くなっているが、学校全体で学習規律や持ち物、忘れ物、廊下歩行、教室利用など、細かい部分でのルール徹底が図られていないからだと考えられる。
	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導委員会を中心に、学校全体での共通理解・共通行動による指導を徹底する。 ・代表委員会を中心に、児童の自主的な取り組みをさらに活性化していく。 ・できているところを認めて褒めて、児童を伸ばしていく。 ・高学年がお手本を見せられるように指導していく。
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の評価は低い、児童間、地域での評価は「そう思う」と「だいたいそう思う」が占められているので、規律ある態度で過ごしていると感じられる。ただ、「そう思う」が22%と低いので、地域の方もお手本になるような態度をすべきなのかもしれない。 ・多くの児童がきまりを守っているが、一部児童にそうでない様子がうかがえることがある。
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察										
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>4%</td></tr> <tr><td>②</td><td>46%</td></tr> <tr><td>③</td><td>50%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	4%	②	46%	③	50%	④	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が昇降口前に立ちあいさつをしたり、代表委員会の児童が朝のあいさつ運動を実施したりすることであいさつの励行を図ってきた。 ・全体的に割合は低くなっているが、徐々に元気なあいさつができるようになってきている。
	評価項目	割合												
	①	4%												
	②	46%												
③	50%													
④	0%													
生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>48%</td></tr> <tr><td>②</td><td>36%</td></tr> <tr><td>③</td><td>11%</td></tr> <tr><td>④</td><td>5%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	48%	②	36%	③	11%	④	5%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に取り組みを実施していく。 ・校内でのあいさつは、だんだんよくなってきているので、さらに向上させるとともに学校外でのあいさつの指導にも重点をおく。 ・来年度もあいさつに重点をおき、継続的に指導していきたい。 	
評価項目	割合													
①	48%													
②	36%													
③	11%													
④	5%													
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>13%</td></tr> <tr><td>②</td><td>39%</td></tr> <tr><td>③</td><td>40%</td></tr> <tr><td>④</td><td>8%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	13%	②	39%	③	40%	④	8%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童以外の評価が低くなっている。学校外でのあいさつの様子はあまりよくないようである。どうしてあいさつをするのか、児童たちが教職員・保護者・地域の方に支えられていることを理解する必要がある。あいさつをするという行動以前に、根本的な指導が必要である。 ・知らない人に声をかけないようにとの以前の傾向が続いているのかもしれない。こちらからあいさつをすれば返してくれる児童もいる。まだ進んでとまではいかない。 ・地域の方も相手が言わないからとあきらめていることもあるのではないかと。 	
評価項目	割合													
①	13%													
②	39%													
③	40%													
④	8%													
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>6%</td></tr> <tr><td>②</td><td>12%</td></tr> <tr><td>③</td><td>65%</td></tr> <tr><td>④</td><td>17%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	6%	②	12%	③	65%	④	17%		
評価項目	割合													
①	6%													
②	12%													
③	65%													
④	17%													

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
安	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域の方の見守りパトロールが充実しており、全体的に高い割合となっている。 	
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の安全や放課後の不審者への対応など、児童が自らの安全を確保しようとする態度を更に育てていく。 ・今後も学校メール（C4th）を活用し、随時不審者情報を発信していく。 	
	全	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の評価は高い。スクールガードの登校時の見守り活動の成果が表れている。高齢化しているパトロール隊メンバーの後継者について考えていく時期である。 ・学校からのタイムリーなメール受信があり、本項目については高い評価をしたい。 ・スクールガード（見守り隊）や地域のパトロールで見守られているが、今後青色防犯パトロール等の更なる強化も市に要望したい。 ・PTAの保護者が地域ごとに交代で見守りに立っているが、交通指導員、地域ボランティアの方々との連携を図る上で学校の姿勢はありがたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>		

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に割合が高くなっている。学校メール(C4th)を活用し随時情報発信したり、学校のホームページを定期的に更新したりするなど、積極的に情報を発信してきた効果と考えられる。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧を活用する。 ・学校ホームページの更なる改善、活用を進めていく。
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりを通しての情報提供は、地域の方が学校に関心を持つ手立てとして評価したい。 ・今年からホームページが活用され、こまめに更新されているため、学校の様子が分かりやすくなった。地域の回覧は感染症対策のため止められていたが、利用できるようになったら活用していただきたい。 ・ホームページ、C4thを活用した情報発信をその都度行っており、必要な情報を得られる環境を整えていただいている。
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は制限がある中での人材活用であったが、学校応援団コーディネーターと協力し、できる範囲での活動を行うことができた。
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる地域人材の発掘とともに、今後も感染症の予防を徹底しながら、どのような場面で地域人材を活用できるかを探っていく。 ・学校応援団やPTAと連携を深め学習支援の内容をさらに充実させていく。
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団だよりに紹介されている地域住民が学校教育に関わる様子を見て、地域に守られている学校であることに誇りを持てる。児童にとってもよいことである。 ・地域には、学校応援団やPTAなど教育活動に熱心な方がいるので、この人材活用も大切なことと思う。 ・学習内容により活用できる人材は様々である。地域との結びつきを強める意味からも現在よりも一層取り組んでもらいたい。
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

杉下

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境①	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々全体的に割合が高くなってきている。特に今年度は保護者の「そう思う」の割合が高くなっており、定期的実施しているトイレ流し清掃ボランティアの効果と考えられる。
	生徒	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の校内美化活動への意識を更に高めていく必要がある。 ・地域の回覧等を活用し、年2回実施している除草作業への参加率を高めていく。
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果を通して環境美化活動に努めていることが理解できる。 ・学校をきれいに保つという心がけが共通して持たれているように思う。今年のような状況で、保護者の清掃ボランティアが実施されたことが安心につながった。 ・以前の除草作業には、学校応援団の参加がほとんどで、保護者の参加が少なかったが、親子除草にしてから子どもと保護者の参加が増えたように感じられる。
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	